

春を通して感じたこと

1年 I・R

僕の好きな季節は春です。春といえば生物や植物の季節でもありません。蜂や蝶が活動を始め、菜の花やたんぽぽなどの植物が春を彩ります。僕は植物なら菜の花が、生物なら蜂が好きです。

菜の花が好きな理由は、春に背丈の高い花が多く群れを作つて、まるで黄色いじゅうたんのようになるからです。蜂が好きな理由は、人と同じで仲間と共に行動し、共に助け合う協力する力があるからです。

また、桜の並木道を歩きたくなります。なぜかという、桜を見ると心が晴れるからです。だから心が暗いときは、桜を見るのが一番です。

## 卒業して別れた友達

次に僕の思い出について話します。それは、卒業式と入学式です。今年、平成28年3月24日に僕は6年間通つた思い出の和納小学校を卒業しました。別の中学校に友達が行つたので別れの卒業式でもありました。

その友達は昔、僕が小さく幼い頃からの友達です。保育園が元々別々なので、一度と会えないと思つていました。でも小学校で二度目の出会いになるとは思いませんでした。

その友達とは1、2年生では組が別でした。3年生でクラスが1つになったので、3年生の5、6月頃に親しくなりました。毎日、下校は一緒でした。自分のつらい顔や落ち込んだ顔を見てはよく僕を励ましてくれたり、相手をして話を聞いて相談に乗つてくれたりしました。こんなにもいい友達を持つて僕は幸せでした。

でも友達は明訓中学校に入学しました。別々の中学校になることは少し寂しかったです。でも家が近いので、これからも会える機会が多くあると思います。

## 中学校での生活

### ―卓球部に入部―

そして、1か月たち、中学校の入学式が行われました。中学校に入学すると約2週間、部活を決める体験入部がありました。体験入部の間、卓球に最も興味があつた僕は最後まで卓球部に通い続けました。そして、4月も終わりに近づき、遂に卓球部に入部しました。

でも、入りたての頃は、外周を走つても後半に入ると、もう他の人の影が見えなくなるくらい置いていかれ、頭では、「入つて本当に正解なのか」と考へてばかりいました。休

日の部活のランニングでも、ギャラリー走でも置いていかれ、突きはなされる毎日でした。

でも、ここ最近では離れることもなく前を走る人の後ろについていけるようになり、僕がこの部活に入ったことは、間違いではないと気がきました。

夏になつて暑くなつてきたので、ある程度体力がついたので感じました。この部活を3年間やつて、3年生になつたとき、僕がどう変わつていくのが楽しみです。

### ―放送委員会で活動―

次に委員会です。小学校でも、5、6年生に委員会を経験していたので心配ないと考えていました。しかし、玉木先生の言うとおりに、いくら経験しているとはいえ、中学校と小学校では訳が違ふと改めて知りました。

現実には、年を重ねるたびに厳しくなると知りました。僕は放送委員会に入りましたが、いつも放送が終わると放送の仕方について先生から注意を受けることが多くありました。そして、聞き手の感情を考えて話すことの大切さに気がきました。

これからも、嘸まずに読む練習や笑わずに読む練習をし、更に工夫を重ねて、もつとみんなが気持ちよく聞けることを目指し、放送の1つ1つを大切に活動に励みたい

です。こうして、入学してからももう4か月がたとうとしています。夏になりました。季節が変わるのがはやいと感じています。そして今は楽しい時間を過ごしています。夏休みが終われば1年生としての生活もあと半分です。いろいろなことに負けず、頑張つていきたいと思ひます。